

事業名	「NGO・NPO 交流の広場」 1 分科会 ～市民から動く、地域から変える 環境に配慮した社会経済の仕組みとライフスタイル～
日時	平成 20 年 5 月 24 日 (土) 10:30 ~ 17:00
場所	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス内 B201、B205、B206 講義室

### 【目的とねらい】

前日の国際シンポジウムにて宣言された「兵庫宣言」を受けて、国内の NPO は活動をどのように地域に落とし込み、どう展開していくべきか、分科会形式で議論する。また、地域での NPO の活動が実際には国際的な活動の流れを支えている根幹であることを認識していただき、国内 NPO のレベルアップ、底上げを図る。

地域の環境課題(自分の活動)を地球規模の視点で捉えなおす

(自分達の取組をグローバルなポジションに)

地域の取り組みを加速・促進していくために何をすべきか(仕組みや制度)

地域(兵庫)から環境分野で何を発信していくか

NGO・NPO 同士の「連帯感・連帯意識」を高める

### プログラム

10:30	開会 基調講演 【テーマ】地域から始める真に豊かで持続可能な低炭素社会づくり -NGO・NPO の役割- 講演者：(特)環境市民 枚本 育生 氏
11:20	前日の国際シンポジウムの報告(各分科会会場) 講演者：気候変動：気候ネットワーク 田浦 健朗 氏 生物多様性：イルカ&クジラ・アクション・ネットワーク 倉澤 七生 氏 3R：化学物質問題市民研究会 安間 武 氏
11:40	分科会 団体による口頭発表(各分科会会場)
13:30	分科会 ポスターセッション(B205 前廊下)
14:10	分科会 団体による口頭発表(各分科会会場)
15:10	分科会 団体による口頭発表(各分科会会場) 全体及び分科会コーディネーター： ・ナビゲーター：(特)神戸まちづくり研究所 能村 聡 氏 ・気候変動：気候ネットワーク 田浦 健朗 氏 ・生物多様性：(特)こども環境活動支援協会 戸田 耿介 氏 ・3R：(有)ひのでやエコライフ研究所 鈴木 靖文 氏
16:20	コーディネーターと司会者による全体セッション
17:00	閉会

参加人数 172名

(発表団体一覧)

	気候変動分科会 B201 講義室	生物多様性分科会 B206 講義室	3R分科会 B205 講義室
分科会 11:40～	<b>ライフスタイル全般(4)</b>	<b>川(3)</b>	<b>ライフスタイル全般(3)</b>
	1.温暖化防止こうべネット	1.流域ネット猪名川	1.神戸女子大学
	2.KOBE地球おもてなし倶楽部	2.川崎グリーン・コ炭銀行	2.C・キッズ・ネットワーク
	3.お米の勉強会	3.野生生物を調査研究する会	3.QOL研究所ひまわり
	4.西神中央自治連合会		
分科会 14:10～	<b>自然エネルギー(3)</b>	<b>農と里山・森(3)</b>	<b>海外と日本のつながり(2)</b>
	5.ワット神戸	4.豊岡市	4.SEEDS Asia
	6.あわじ菜の花エコプロジェクト	5.秀明自然農法ネットワーク	5.東アジア環境情報発信所
	7.大規模長期食糧備蓄構想推進協議会	6.上山高原コミュニティ	
分科会 15:10～	<b>仕組みと政策(4)</b>	<b>農と里山・森(2)</b>	<b>仕組みと政策(3)</b>
	8.環境21の会	7.兵庫ケナフの会	6.リターナルびんをすすめる会・川西
	9.環境文明21	8.北山の自然と文化を守る会	7.エコリソひょうご
	10.地球環境イニシアティブ	<b>海(2)</b>	
	11.森林の温暖化防止貢献評価研究会	9.新舞子干潟をラムサール条約に登録する市民の会	8.神戸夙川学院大学
		10.アマト種子バンク	

<まとめ>

今回の会は兵庫が中心となったが、全国から団体が集まった。G8環境大臣会合を契機に、より強い連携を作ることができたらよいのではないかと思う。



## 主 催 等

「NGO・NPO 国際シンポジウム・交流の広場」実行委員会  
環境大臣会合等兵庫県推進協力委員会